

Party

パーティ

特集

災害と男女共同参画

9・10 豪雨災害の支援から

…2

講座・イベント れぽ〜と	5
ち・い・き Pick up!	11
相談ルームから	12
情報ライブラリーから(本の紹介)	13
平成28年度前期講座案内	14
インフォメーション	16
✦ めざせカジダン・おススメレシピ	9
✦ おすすめシネマ	13



パーティとは？

“参加・参画”を意味する Participacion (スペイン語) から引用された、とちぎ男女共同参画センターの愛称です。

災害と男女共同参画

～9.10 豪雨災害の支援から

2015年9月9～10日、台風18号等による豪雨は、県内各地にも甚大な被害をもたらしました。

本特集では、支援の現場で活躍された女性やボランティア団体を紹介し、災害時の男女共同参画の視点での取組について検証します。

男女共同参画の視点で 支援活動をふりかえる



住宅に流れ込む濁流 (写真提供: 栃木県防災士会)

県内被害状況は？

2015年9月9～10日、台風18号等による記録的な豪雨により、栃木・茨城・宮城3県で鬼怒川をはじめ多くの河川が氾濫しました。本県にも大雨特別警報が発令され、15市町で避難指示・勧告が出されました。

本県の被害状況（11月19日県発表）は、死者3名、全壊24棟、半壊133棟、床上・床下浸水約5900棟、土砂災害約600件に上り、県内各地に甚大な被害がもたらされました。

急速な道路への冠水や家屋への浸水、また土砂災害が起こる危険性の豪雨の中、夜間に避難すべきか否か、加えて子どもや高齢者を抱えての避難はどうすればよいか、避難情報の伝え方など多くの課題が残されました。

一方で、泥出しや片づけに、県内外から1万人を超えるボランティアの方が駆け付けられ、多くの被災者が励まされました。



「育児・介護等物資アンケート」おむつ、ミルク、下着などの要望をききとる。



「避難所チェックシート」間仕切り、更衣室、授乳室などをチェック。

※シートはパーティホームページで見られます

避難所は？

避難所は最大で76か所開設され、最大2677名の方が避難所生活を余儀なくされました。災害から2ヶ月経った11月中旬、最後の避難所が閉所しました。

チェックシートを周知

パーティでは東日本大震災後、「防災ハンドブック」を作成、配布、また出張セミナーを行って男女共同参画の視点での防災について周知してきました。

本災害では、避難所を開設した市町に避難所チェックシートや、ニーズ聞き取りシートを紹介し、避難所で活用してもらいました。

成果は？

- 「防災ハンドブック」「チェックシート」「聞き取りシート」を活用し、避難所の運営や、避難者に寄り添ったきめ細やかな支援ができた。
- 「小さい子どもがいるので家の片づけが進まない」という声に対して、市が子どもの一時預かりを実施した。
- 女性団体が生活者の視点でボランティア活動をされていた。



課題は？

- マニュアル等で避難所設営に男女共同参画担当課が割り当てられてないため、後から配置を変えらるることや、女性専用スペースの設置が難しかった。
- 泥出しなどのボランティアの手配で忙しく、避難所でのニーズ聞き取りまで手が回らない。

これからは？（提言）

- 避難所マニュアル等に、避難所設営の役割に男女共同参画課を加える。また女性専用スペースの設置や、女性団体による運営を明記する。
- 全行政職員やボランティア支援職員を対象に、男女共同参画視点の防災研修を実施する。
- 自主防災組織で、多様な視点での避難所訓練を実施する。

避難者に寄り添い、必要な支援を届ける

永野川・巴波川などの氾濫で、約2600棟が浸水した栃木市。
市災害ボランティアセンターで活動された中村さんに、避難所支援を中心に話をうかがいました。



「何かお困りのことはありませんか？」
避難者にあたたかく寄り添う中村さん

パーティ：ボランティアセンターでは、どのような活動をされたのですか？

栃木市では市社会福祉協議会に、青年会議所とくらが協力し、「災害ボランティアセンター」を運営しました。

最初は、センター本部で電話等で聴きとった被災者のニーズを、現場に向かう人たちに伝えるマッチングを担当していました。

その後、サテライトのボランティアセンターを吹上地区に設置した際には、ニーズ調査、マッチング、資材提供と洗浄片付け等、数名のスタッフやボランティアの方々と一緒に、何でもやりました。

また、雨で外での活動が出来ない時には、市内の避難所を訪問し、避難者の方の困っていることを聴きとり、スタッフミーティングで情報を共有し、支援につなげました。

避難所では、どのようなニーズがありましたか？それに対して、どんな支援をされましたか？

聞き取りには、パーティから提供された「聞き取りシート」を活用しました。避難者のニーズとボランティアセンターの支援については、次のとおりです。

○座布団を並べて毛布一枚で寝ている。

↓寝具を集め、届けた。

○車が水没して使えず、自宅へ片づけに帰れない。○コインランドリーに歩いて行っている。洗濯物も多く大変。

↓行政につなぎ、リサイクル自転車を届けた。

○下着の物資提供があったが、大きいサイズの下着が足りない。

↓社協より下着メーカーへ提供を依頼し、届けた。

○夜勤なので昼間に睡眠をとりたいが、大部屋では眠れない。

↓耳栓とアイマスクを届けた。

他にもペットと車中泊している方や、耳が遠い方もいらしたかったので、気にかけていました。単身の高齢女性も多く、傾聴を心がけました。

10月末には、公営住宅に移る方も増えてきました。日用品も家財道具も流されて全く無い、という方が多いので、公営住宅でフリーマーケットができるといいですね。
(取材は10月中旬に実施)

男女共同参画の視点で寄り添われたご支援、本当にありがとうございます。

避難所で間仕切りが使われていなかったの、見本を作って使用を呼びかけました。パーティ提供の「避難所チェックシート」「備蓄チェックシート」が役立ちました。

栃木市ではくらは主催で、行政職員とボランティアに関わる方が定期的に防災研修を行っているようですね。

東日本大震災時に避難者を受け入れたことがきっかけです。「イコールネット仙台」の宗片恵美子代表の講演会や、避難所運営ゲームHUGの研修を行ってきました。パーティの防災ハンドブックも周知しています。

しかし、いざ災害となると、男女共同参画の視点で支援できる職員はまだ少ないです。行政職員やボランティア全員が知っておくべきです。今後も男女共同参画の視点での防災研修を重ねていきたいです。



ボランティアの方がマッサージでほぐしながらニーズをうかがう

「被災者のみなさんに、早く元の生活に戻ってほしい」

黒川・西武子川等の氾濫で約1,000棟が浸水、土砂災害による被害も大きかった鹿沼市。被災者に日用品を無料提供したボランティア団体「渡辺グループ」にお話をうかがいました。

水害被災者に日用品を無料提供

鹿沼市のボランティア団体「渡辺グループ」（代表：渡辺雪子さん）は、水害の被災者に、衣類や生活雑貨、食器、電化製品などを無料で提供しました。期間は9月19日から27日の9時～17時まで、会場は鹿沼市下武子町自治会館。9日間で約50人の被災者が訪れ、中には避難所暮らしの方もいらっしゃいました。

「浸水で何もかも使えなくなってしまった。ズボンは今はいっているものだけ。本当にありがたい」と喜ばれ、衣類などを持ち帰られたそうです。

東日本大震災支援から活動を開始

「渡辺グループ」は東日本大震災後、東北の仮設住宅に小物や卵を送る活動から始まりました。現在メンバーは10名ほどで、60代から80代の女性が中心です。手作り小物を町の駅などで販売し、活動費としています。



衣類や食器の提供会場で。渡辺グループのみなさん

「小物を作りながら、家族の介護の苦勞について皆で話して、泣いたり笑ったり。私たちが元気になる集まりです。この活動はみんなの生きがいになっています」と語ります。

また、衣類などを集めて年に2回、フリーマーケットに出店します。その売り上げで毎回100kgの卵を岩手の仮設住宅に送ってきました。

今回は、このフリーマーケット用に集めていた物品を、水害の被災者のために提供しました。最初は450点の品物を用意しましたが、「私も提供したい」という方が次々と品物を持参され、さらに400点が追加されました。いただいた品物を仕分け、洗濯して新品同様に変わる作業も心をこめて行いました。

メンバーが住む菊沢・下武子町地区は、西武子川の氾濫で多くの家が浸水しました。

「私たちは家も寝床も家財道具も無事だった。被災者のみなさんが早く元の生活に戻れることを願います」と熱く語ります。

今後も東北に卵を送る活動を続けていくとのことです。



いただいた食器をきれいに磨いて新品同様に再生。

ご活用ください！

パーティ防災ハンドブック

パーティでは「男女共同参画の視点で取り組む 防災ハンドブック」を配布しています。

多様な立場の人が暮らす地域で、災害時にみんなで助け合うには、普段の地域づくりや防災体制において男女共同参画の視点が大切です。

災害や避難生活をイメージして、どう備えればよいか、家族やご近所での話し合い、自治会・団体等の研修でもご活用いただけます。

お問い合わせ（啓発支援課）

電話 028-665-7706



支援者向け副読本



一般向け

講座・イベントれば〜と

7月〜2月の間に行われた
イベントや講座の報告です

「みつけよう！今の私にできること ～一人ひとりが しあわせな未来へ」 フェスタinパーティ2015を開催しました

11月



11月21日（土）、「みつけよう！今の私にできること ～一人ひとりが しあわせな未来へ」をテーマに、フェスタinパーティ2015を開催しました。

パーティは今年で開館20周年。21年目からも、誰もが安心して暮らせる未来のために、パーティを拠点に県内で元気に活動する71の団体・グループが日頃の活動の成果を発表しました。

男女共同参画を考える発表や展示、親子で一緒に楽しめる体験コーナー、様々な手作り品の販売やパフォーマンスの発表、北欧の非暴力に根差した子育ての紹介、女性の活躍推進に取り組む企業の紹介など、多彩な企画が盛りだくさんでした。

この日の来場者は約1400人。子どもから大人まで様々な世代が交流を深め、元気になるフェスタとなりました。

男女共同参画を考える！発表や展示



男の料理を披露！
【ぐる〜ぶ いろいろの会】



高齢化社会を考える寸劇の発表
【自分力アップ「和み（なごみ）」】



男女共同参画に関するセミナー
紹介やディベート
【栃木県女性団体連絡協議会】



男のライフスタイルを見直す
活動の紹介
【男の生き方を語り合う会】



様々な分野で活躍した県内女性の
ゆかりの地を紹介
【ゆう企画】



ドイツ研修の学びの報告と紹介
【とちぎつばさの会】

子育て支援の発表・展示・体験



子育て支援団体による親子体操
【となりのグランマ】



身近にあるもので簡単おもちゃ作り
【栃木県家庭教育オピニオン
リーダー連合会】



北欧の非暴力に根差した子育ての
紹介と絵本の読み聞かせ
【ママリングス】

パーティコーナー



オープニングイベントで、とちまるくんもお出迎え！



県内の女性の活躍推進・協賛企業の展示

販売・パフォーマンス



カントリーダンスの発表
【SUNDANCE（サンダンス）】



手作り品の販売

TOCHIGIで輝く☆ 「働くウーマン」プロジェクト

「女性の力、を企業に活かし、
とちぎをさらに元気に!!」



女性の活躍で、TOCHIGIがもっと元気になる！
平成27年度に実施した「働くウーマン」プロジェクトを報告します。
女性も男性も、社員も経営者も、学生や起業を目指す女性も・・・
みんなで共有した「女性の活躍推進」。
それは、誰もが働きやすく、暮らしやすい、多様な人が自分の力を
発揮できる社会につながります！

TOCHIGIで輝く☆ 「働くウーマン」プロジェクトとは??

「女性の活躍」に関する現状や課題・改善策を共有し、栃木県における女性の活躍をさらに推進するため、県が平成26年度に立ち上げた事業で、平成27年度は新たに3つの事業を加えました。
とちぎ男女共同参画財団、経済団体、高校・大学、金融機関など13の団体・企業と連携し、女性経営者やキャリアの先輩などを講師に迎えたセミナーやキャリア講座など、9つのプロジェクトを展開しました。

8月

公開講座

「いま、変わる男の働き方 ～女性活躍推進のカギは男性にあり!～」

講師：内閣府少子化危機突破タスクフォース政策推進チームリーダー

(民間シンクタンク研究部長) 渥美 由喜さん



▲「困難があってもプラスに考える」と笑顔で話されていました。



▲渥美さんの体験に基づくお話に時には目に涙を浮かべる受講者もいました。

消費者が多様化し、職場も多様化。多様な人材が活躍するために、柔軟な働き方ができる環境づくりを男性が感じ取り、積極的に発信することが必要。ワークとライフには、相乗効果とストレス相殺効果があると話され、ワークライフバランスは、「ワ」がち合い、「ラ」くあり苦あり、「パ」トンリレーと、男女が協力して困難も乗り越えることが、幸せの道になるかと話されました。

当日は約150名の参加があり、「男の働き方を変えるということの本当の意味が理解できました。生き方を自分で決めることも大切だと感じ、今後の参考となりました」「働き方、人との関わり方大変参考になりました。職場以外でも活かせる話が盛りだくさんで有意義でした」「子育てから介護までのワークライフバランスを学ぶことができました。地域で活動する上でとても役に立つ内容でした」との声が寄せられました。

女性活躍ネットワーク事業



▲奥日光の活性化のために、私たちは何ができるかな？



▲弱みと思っていたことは実は強みだった！？



▲今回の交流会の議題は・・・

業種、年齢、経験年数や職位の異なる働く女性が交流し、情報交換する場を創出するため、栃木県中小企業団体中央会と連携し、交流会や研修会を県内3か所で各5回開催しました。

スマイルコミュニケーション代表の小林里江さんにアドバイザーとして関わっていただいたことで、メンバー同士のコミュニケーションが円滑になり、終始和やかに、そして活発に進められました。

—参加者の主な意見—

① 一般社団法人宇都宮工業団地総合管理協会（宇都宮市）

「メンバー同士で役割分担を決め、掲示板を活用して交流会や研修会のテーマを自分たちで出し合うなど、会を自主的に運営するスキルが磨かれ、日々の業務にも活かせる積極性や行動力が身につきました」

② おもちゃ団地協同組合（壬生町）

「職場環境や働き方について女性の視点からの意見交換や自分の強みを見つける勉強会を通して、改めて人間関係の大切さを感じ、団地内のネットワークをもっと広めたいと思いました」

③ 奥日光観光サービス振興事業協同組合（日光市）

「女性の視点で観光地の現状を把握し、そこから描き出した活性化に向けたプロセスについての議論を通して、自分たちができることから発信していくことが大切であると実感しました」

3か所の事業参加者に共通して、人とのつながり、すなわち「ネットワークによる交流」が、働くことや地域活性化へのモチベーションアップにつながったとの声が聞かれました。

「女性の視点で観光地の現状を把握し、そこから描き出した活性化に向けたプロセスについての議論を通して、自分たちができることから発信していくことが大切であると実感しました」

3か所の事業参加者に共通して、人とのつながり、すなわち「ネットワークによる交流」が、働くことや地域活性化へのモチベーションアップにつながったとの声が聞かれました。

業種、年齢、経験年数や職位の異なる働く女性が交流し、情報交換する場を創出するため、栃木県中小企業団体中央会と連携し、交流会や研修会を県内3か所で各5回開催しました。

スマイルコミュニケーション代表の小林里江さんにアドバイザーとして関わっていただいたことで、メンバー同士のコミュニケーションが円滑になり、終始和やかに、そして活発に進められました。

—参加者の主な意見—

① 一般社団法人宇都宮工業団地総合管理協会（宇都宮市）

「メンバー同士で役割分担を決め、掲示板を活用して交流会や研修会のテーマを自分たちで出し合うなど、会を自主的に運営するスキルが磨かれ、日々の業務にも活かせる積極性や行動力が身につきました」

② おもちゃ団地協同組合（壬生町）

「職場環境や働き方について女性の視点からの意見交換や自分の強みを見つける勉強会を通して、改めて人間関係の大切さを感じ、団地内のネットワークをもっと広めたいと思いました」

③ 奥日光観光サービス振興事業協同組合（日光市）

「女性の視点で観光地の現状を把握し、そこから描き出した活性化に向けたプロセスについての議論を通して、自分たちができることから発信していくことが大切であると実感しました」

3か所の事業参加者に共通して、人とのつながり、すなわち「ネットワークによる交流」が、働くことや地域活性化へのモチベーションアップにつながったとの声が聞かれました。

業種、年齢、経験年数や職位の異なる働く女性が交流し、情報交換する場を創出するため、栃木県中小企業団体中央会と連携し、交流会や研修会を県内3か所で各5回開催しました。

スマイルコミュニケーション代表の小林里江さんにアドバイザーとして関わっていただいたことで、メンバー同士のコミュニケーションが円滑になり、終始和やかに、そして活発に進められました。

—参加者の主な意見—

① 一般社団法人宇都宮工業団地総合管理協会（宇都宮市）

「メンバー同士で役割分担を決め、掲示板を活用して交流会や研修会のテーマを自分たちで出し合うなど、会を自主的に運営するスキルが磨かれ、日々の業務にも活かせる積極性や行動力が身につきました」

② おもちゃ団地協同組合（壬生町）

「職場環境や働き方について女性の視点からの意見交換や自分の強みを見つける勉強会を通して、改めて人間関係の大切さを感じ、団地内のネットワークをもっと広めたいと思いました」

③ 奥日光観光サービス振興事業協同組合（日光市）

「女性の視点で観光地の現状を把握し、そこから描き出した活性化に向けたプロセスについての議論を通して、自分たちができることから発信していくことが大切であると実感しました」

3か所の事業参加者に共通して、人とのつながり、すなわち「ネットワークによる交流」が、働くことや地域活性化へのモチベーションアップにつながったとの声が聞かれました。

11月

キャリア・マネジメント講座 フォローアップ研修

講師：（株）あしぎん総合研究所

課長 野内 比佐子さん

前年度のキャリア・マネジメント講座修了者を対象に、振りかえりや修了者同士の情報交換を行い、さらに、モチベーションアップの研修を実施することで、受講者自身がその企業等におけるロールモデルとなり、女性活躍推進の取組をさらに発展させ、継続性を高めていただくことを目的とした「キャリア・マネジメント講座フォローアップ研修」を実施しました。

受講者同士で日頃の悩みや現状を共有し、交流を深めることで気持ちをリフ



▲野内さんによるフォローアップ研修の様子

レッシュユさせ、業務に対する活力が向上しました。

11月

とちぎ男女共同参画フォーラム

講師：（公財）21世紀職業財団

会長 岩田 喜美枝さん

女性の活躍推進を目的に開催した当フォーラムでは、第1部「TOCHIGIで輝く☆『働くウーマン』プロジェクト」の事業に参加した2組の方の報告に続き、第2部では、（公財）21世紀職業財団会長の岩田喜美枝さんに「女性はもっ



▲岩田さんによる基調講演の様子

と活躍できる！」と題した、ご講演をいただきました。岩田さんは「時間当たり生産性の高い働き方をすることで、女性はもっと活躍できる」と話されました。続いて、岩田さんをコーディネーターに、3名のパネリストをお迎えし、「栃木で輝くためのSUGGESTION（提案）」をテーマにパネルディスカッションを行いました。第3部では、岩田さんやパネリストの方々にもご参加いただき、女性だけによる交流会を実施しました。

女性への暴力を考える講演会

「私たちをとりまく性情報 ～それって本当に恋愛ですか?～」

講師：メディアジャーナリスト／慶応義塾大学SFC研究所上席所員

渡辺 真由子 さん



▲実際にあったリアルな事例をお話いただきました！

11月12日～25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間にあわせて、女性への暴力を考える講演会を開催しました。

今回、メディアジャーナリストの渡辺真由子さんをお招きし、DVやデートDVの現状、メディアが発信する性情報に潜む誤解と偏見について、豊富な取材経験に基づく事例を交えて、お話いただきました。

渡辺さんは、性情報とデートDVとの関連性を、若者の性的メディアの利用現状と併せて、性情報が若者にとって「教科書化」していることを挙げられました。

デートDVの実情について鋭くメスをいれながら、妊娠・中絶・性病に対する知識の欠如にも触れられました。性的トラブルに巻き込まれない子どもを育てるためには、メディアの発信する情報は恋愛至上主義的なものが多いことに気付かせることが重要とし、「女は男に従うもの」というジェンダーの束縛をほくことが求められると話されました。また、女性、男性の恋愛観と性意識にも着目し、互いを尊重しあう人間関係の築き方を考えることが、とても大切であると訴えられました。

参加者からは、「女性、男性の認識の違いや現状などを実感して知ることができた」「取材を基にされたお話は説得力があり大変参考になった」などの感想がありました。



▲渡辺先生の講演を真剣に聞く受講生のみなさん

7～12月

地域指導者養成講座（全4回）

7/11(土)～12/5(土)

地域での活動の幅を広げたい！一緒に活動する仲間を作りたい！という思いを持つ方の育成を目的とした「地域指導者養成講座」を実施しました。

地域での活動に必要な知識や、引き出すチカラ、伝えるチカラ、地域防災の取組の具体的な手法を、4回にわたる講義やグループワークを通して実践的に学びました。

ファシリテーションでは、メンバーシップを高

め、言葉になりにくいことを見える化し、一人ひとりの意見を大切に平等に扱うこと、後ろから支えるリーダーの大切さを学びました。ワールドカフェでは、意見交換を通して考え方の多様性を実感しました。



▲様々な“見える化”の方法を伝授！

7～10月

とちぎ女性政策塾（全7回）

7/11(土)～10/31(土)

男女共同参画の視点を持ち、政策・方針決定過程に参画する女性の育成と支援を目的とした「とちぎ女性政策塾」を実施しました。

各種審議会等の委員に必要とされるリーダーの資質等の知識、統計の読み解き方やデータを使った表現のスキル等を7回に渡る講義やグループワークを通して学びました。

最終回では受講生が審議委員役となり、模擬審議会を行いました。今年度は13

名が修了しました。



▲実際の雰囲気そのままに模擬審議会を行いました。体験してみると、審議委員に求められる課題や難しさがよく分かります。

男のライフバランスを考える講座

11~12月

しあわせを呼ぶ！オトコのための家事テク講座

仕事中心になりがちな男性のライフスタイルを見直し、人生をより豊かに自分らしく生きるためにはどうすればよいか。「男性と家庭」にポイントを置いた全2回の講座を通して、家事や料理に対する意識の向上を図る目的で開催しました。

第2回12月

「オトコの料理でおもてなし！
～プロに学ぶクリスマスコース～」

講師：(株)オトワクリエーション オーナーシェフ 音羽 和紀さん

「地産池消」をモットーに、クリスマスコース料理に挑戦しました。音羽シェフのレクチャーを受けながら、伊達鶏胸肉のポワレ、プレミアムヤシオマスと長葱のサラダ、ムースショコラオレンジ風味の3品を作りました。アットホームな雰囲気の中で、料理を身近に感じることができました。



第1回11月

「オトコの時短家事
～誰も教えてくれなかった、
パパが家事する本当の意味～」

講師：NPO法人tadaima! 代表理事 三木 智有さん

仕事と家庭がどれだけ大切かを改めて考えるワークと、家事の基本をテスト形式で学びながら、家事シェアについての理解を深めました。家事シェアとは、ただ家事を分担するだけではなく、家族のパートナーシップの問題であるということを学びました。



仕事と家庭がどれだけ大切かを改めて考えるワークと、家事の基本をテスト形式で学びながら、家事シェアについての理解を深めました。家事シェアとは、ただ家事を分担するだけではなく、家族のパートナーシップの問題であるということを学びました。

めざせカジダン！
おすすめレシピ

簡単サイドメニュー

ムースショコラ オレンジ風味

材料(6人分)

チョコレート 250g バター 25g
卵黄 6個分 卵白 6個分
オレンジピール(みじん切り) 30g



作り方

- ① 油分や水分の無いきれいなボウルにチョコレートとバターを入れ、湯煎で丁寧に溶かす。
- ② あらかじめ常温に戻した卵黄を加え混ぜる。別のきれいなボウルに卵白を入れ、よく泡立てる。
- ③ ①に1/4程のメレンゲ(②)を加え混ぜ、オレンジピールも加える。気泡を潰さないように残りのメレンゲを混ぜ合わせる。デミタスカップなどにムースを静かに流し入れ、冷やし固める。

9

講座・イベント情報

とちぎ次世代人材づくり2015

～新しい自分に会いに行こう～

7~2月



▲半年間の成果を発表しました。



▲日本女性会議2015倉敷に参加しました！

”新しい自分に会いに行こう”を合い言葉に、昨年7月からスタートした研修では、参加者24名が5つのグループに分かれ、それぞれがまちづくり、ワーク・ライフ・バランス、子育て、介護、貧困など、地域の課題を見据えたテーマを設定し、調査研究を進めてきました。また、岡山県倉敷市での日本女性会議への参加や同地での先進事例調査、さらに県内の地域活動実践者との意見交換会などを通して、実際に地域で活躍するリーダーと交流しながら、多くのことを学んできました。

これらを取りまとめ、研修成果発表会として、2月7日(日)パルティホールで、市町や団体等の多数の関係者の皆さんが見守る中、グループごとに成果の発表を行い、半年間の研修を修了しました。

世代も価値観も異なる仲間が出会い、ともに学び、討議を重ね、時に意見を戦わせながらも課題や提案をまとめ挙げた経験を活かし、地域のリーダーとして活躍することを期待しています。



▲自分の住む地域の課題は何だろう？

8月

女性と子どものための護身術

WEN-DO

講師 リアライズYOKOHAMA

代表 橋本 明子さん



▲「サークルズプログラム」について説明

WEN-DOとは

カナダの武道家が編み出した、女性のための護身術。相手を攻撃するのではなく、危険から身を守り、その状況から「逃げ切る」ための手段。

連れ去り事件や性暴力の被害が多発している中、女性・子どもの体力で工夫して危険を回避するスキルと心を守る考え方について学びました。

実際に、後ろから抱きつかれた時や腕を掴まれた時など、具体的な状況下での対処法や、大声の出し方などの実践と、未然に暴力から身を守るために必要な人との距離感について学ぶ「サークルズプログラム」を通して、自分には、自分を守る権利と力があることを体感しました。

講師の橋本さん曰く、「護身術」は「護心術」。悪いのは加害者であり、被害者ではない。私のボスは私。自分の持つ強さを信じ、自分を大切に思う心が、身を守るための最大の力になると力説されていました。

9月

家族ケアプログラム（全2日）

～当事者、家族、支援者、みんなのためのセルフケア

講師 NPO法人ティーンズポスト

代表 八巻 香織さん



▲様々なワークで心と体をほぐし、ウツ状態に陥るからくりと回復を子どもの視点から実施（右から2人目が八巻講師）

夫婦や親子など家族の中で起こる暴力や依存症、ひきこもりなどの家族問題について紐解き、セルフケアの手法を学び、傷ついた関係の回復について考えました。

不安や悲しみなどから逃れるため、人は酒・仕事・自傷行為等に依存することで感情を麻痺させます。自分の気持ちを認め、受け入れ、伝え合う、安全な守り方を知ることが第一歩です。

二日間を通して、様々なコミュニケーションワークや演劇の手法を用い、

- ◇家族内で身に付けた役割から自分を解放する
- ◇いつもの依存パターンに陥らず代替プランを試す
- ◇限界を設定して燃え尽きない
- ◇自分をケアする方法をたくさん持つ
- ◇自分について協力し合って体感しました。

1月

女性の起業応援サロン

～私が創る、私らしい働き方



コーディネーター・先輩女性起業家（左から順に）

C.K.コンサルティング&コーチング代表 近藤 千園さん

NPO 法人 野うさぎくらぶ 理事長 矢口 和美さん

宝兎のネイル cafe フォコリ 店主 長谷川 征子さん

柴田 恵理子さん

県内で活躍する女性起業家達から、体験談の発表やパネルディスカッションを通し「起業」という働き方について学びました。

◇体験談発表…女性の働き方はライフステージによって変わりがち。なぜ「起業」という働き方を選んだのか、起業家それぞれの起業へのプロセスを聞くことで、自分にあった起業とは何かについて考えました。

◇パネルディスカッション…「起業するためにはどんな準備が必要で、何が大変だった？」「家庭との両立の仕方は？」などについて、ディスカッションを行いました。起業家たちの率直な意見を聞くことで、起業の難しさとともに、その面白さ・やりがいなどについて深く学ぶことができました。

講座の最後には女性起業家や支援者を交えての交流会も行われ、参加者からは「起業家の体験談を聞くことで励まされた」などの声が多く聞かれる講座となりました。



ち・い・き pick up!

県内で開催された催しや、団体などの活動を紹介します。

女性の活躍推進への課題を探るシンポジウム「とちぎ女性会議2015」



▲とちぎ女性会議開催チラシ



▲発表者のスピーチに真剣に耳を傾ける参加者

県内の女性有志により、女性の活躍推進への課題を探るシンポジウム「とちぎ女性会議2015」が8月23日、日光田母沢御前邸記念公園で初開催されました。

第一部では「今のわたし、未来のわたし」をテーマに、県内で活躍する起業家・会社員・専門職など、さまざまな立場の女性8人によるスピーチが行われ、30〜40歳代の女性を中心に約100人が聞き入りました。それぞれ困難を抱えながらも、前向きさを失わず、自分自身が輝くために日々心がけていること、今後の目標などについて、熱く語りました。

参加者からは「自分らしく、今できることをやればいいのだと前向きな気持ちになれた」「同じ働く女性として良い刺激を受けた」などの声が上がっていました。

第二部では、発表者と参加者を交えての意見交換会が行われ、女性が安心していきいきと働き続けられる環境づくりや、男女共同参画の実現に向けた課題を共有。「女性の力なくして町づくりはできない」「地方の女性リーダー育成にもっと力を入れるべき」など、短い時間の中で様々な意見が飛び交い、会場を賑わせました。

真の民主主義を政治教育で学ぶ ～とちぎつばさの会ドイツ研修～

栃木県の海外研修が幕を閉じ、自分達で企画し実行した二年に一度のノルウェー・デンマーク・そして今回のドイツ研修は私達に多くの学びを授けてくれた。今回の研修の中で、特に「ドイツの政治教育」は素晴らしいものだった。それを国の施策の中で実行しているドイツに深く感銘を受けた。具体的には①相手の話を聞く②色々な考えを知らせる(その際は簡単に判断しない。社会の弱者について考える)③若者と会話形式で意見交換する、である。

戦後、日本と同じ敗戦国となったドイツは「国を守る一番大切なことは民主主義という事だ」という考えに気付き、国民に民主主義の制度や価値観を教え始めた。「民主主義」を教え続けているのは「民主主義が国を創り、国を支える」と考えているからだ、どこへ行っても聞かされた。

二十五年間政治教育を続けながら選挙年齢の引き下げを行っているドイツと日本には、大きな違いがある。「政治教育センター」は、ドイツ連邦に一つと、その他十六の州それぞれにセンターがある。政治教育センターでは、市民の民主主義活動を応援して研修会を開いている。政治教育には、学校内教育と学校外教育があると言われるドイツで、こんな光景に出会った。ガラス張りで作られる連邦議会では、傍聴席で子どもから大人まで、沢山の人が政治教育を受けていた。申し込みさえすれば誰でも受けられ、常時行っているという。

今、私たちの周りでは「国内でも男女平等を学べる」という声が多く聞こえる。しかし今回のドイツ研修で「日本は大きくドイツに先を越されている」と肌で感じたことは現地でしか学べない。もっとと世界に目を向け活動をすべきと考える。

(執筆者: 会長 梅澤 啓子)



▲ポツダム大学の学食で教授と昼食



▲連邦議会では常に政治教育

／こんにちは／
相談ルームです。



日々の相談から思いつくこと

女性の貧困

女性のための一般相談には、離婚に関する相談が多く寄せられます。夫が浮気を繰り返しても、ひどい暴力を振るい続けても、相談者はなかなか離婚に踏み切れないでいます。

離婚を決断できない大きな理由として、経済的不安があげられます。中でも子供を抱えている母親は、母子家庭になった後、経済的にやっつけていけるのだろうかという心配があつて離婚をためらってしまう傾向にあるようです。

確かに、最近の母子世帯の実態調査などの結果を見ると、シングルマザーの経済基盤がいかに弱いかがわかります。「国民生活基礎調査(2013)」によれば、日本の母子世帯は、先進諸国の中でも就労率が80%と突出して高いにもかかわらず、一般世帯の36%の年収しかなく、就労

による収入はわずか29%となっています。シングルマザーは、一人で生活を支えるため、できるだけ多くの収入を得ようと長時間働く傾向にあるものの、それに見合った満足のいく給料は貰えないのが実情であり、経済的にも時間的にもゆとりのない生活を強いられることが多いのです。

婦人相談員は、離婚を迷う相談者の揺れ動く気持ちに寄り添いながら、必要に応じて、次のステップに踏み出せるよう、調停など離婚手続きに関する情報提供や、母子自立支援窓口の案内などを行っています。

経済的不安などの障壁に阻まれることなく、自立の道を選ぶことができる女性が増えることを心から願ひ、女性の置かれた不利な環境に関心を寄せていかなければと思っています。

お問合せ

※いずれも祝休日・年末年始はお休みです

◆女性のための一般相談

電話 月曜日～日曜日 9時～16時
面接 火曜日～日曜日 9時～16時(予約制)

◆配偶者暴力相談

電話 月曜日～金曜日 9時～20時
土曜日・日曜日 9時～16時

◆女性のための健康相談(面接)

毎月 第1木曜日
16時30分～18時30分(予約制)
電話028-665-8720

不妊専門相談センターから

「おしゃべりサロン」に来てみませんか



不妊症や不育症の治療中には、さまざまな疑問や不安を感じられるのではないかと思います。その中には「医師に聞くことではないし、インターネットでは情報があまりすぎてどれを信じて良いのか分からない」といったものはありませんか。

たとえば「ほかの人は毎日どう過ごしているの?」「治療のことをそれぞれの親にどう説明しているのだろう」「どうやって仕事と治療を両立させているの?」といったような疑問は、他の人の意見を聞いて参考にしたいと思っても、なかなかそれを聞いたり話したりする場がないのではないかと思っています。

大きな声で話せ、理解してもらえたのがうれしかった」といった声が聞かれています。

「おしゃべりサロン」は、参加者が気持ちを分かち合い、少し元気になって帰れるような集まりを目指しています。興味のある方は是非ご参加ください。

●おしゃべりサロン

テーマごとに、日程を分けて行っています。詳細は14ページの講座案内をご覧ください。不妊専門相談センターまでお問い合わせください。

お問合せ

※いずれも祝休日・年末年始はお休みです。

●助産師による相談

第4日曜日

10時～12時30分、13時30分～16時
(平成28年4月より第4日曜日の相談も始まります)

専用電話：028-665-8009

Eメール相談：fujin.fujiku-soudan@

part.jp

*平成28年1月よりメールアドレスが変更となりました。

参加者からは「これから行う治療のことや普段の生活についての話が聞け参考になった」「普段言えない話を

栃木県不妊専門相談センターでは、このような気になることを解消できる場所を作りたいと考え、参加者同士で不妊や流産に関する悩みを話したり、情報交換を行う「おしゃべりサロン」を年に10回開催しています。

パーティの情報ライブラリーから 本の紹介

パーティには約20,000冊の図書があり、ホームページからも検索・予約できます。ぜひご利用ください。 <http://www.parti.jp/>

いつまでも会社があると思うなよ!

川島 高之【著】

(PHP研究所)

合併や倒産も珍しくなくなった今、仕事(ワーク)と共に、私生活(ライフ)と社会活動(ソーシャル)という「3本柱の生活」が男性の人生を強く、豊かなものにしてくれる。著者はイクボスとして職場の労働時間を激減させながらも、3年間で8割の増益を達成。その実践過程で得られた効率的な時間術や部下育成法も紹介。



なぜ女性は仕事を辞めるのか

5155人の軌跡から読み解く

岩田 正美・大沢 真知子【著】

(青弓社ライブラリー)

「結婚・出産を契機に仕事を辞め、子育て後に復職する」ことを示すと考えられてきたM字カーブ。しかし女性が仕事を辞めるのは「仕事のやりがい」「労働環境」が原因だった——働く/働きたい/働き続けたい女性の就業実態を5,000人以上のデータから照らす。



女性活躍後進国ニッポン

山田 昌弘【著】

(岩波書店)

「パラサイト・シングル」「婚活」など、斬新な造語で日本社会を切り取ってきた社会学者が、男女の性別役割意識の根深さが結果として日本の経済停滞や少子化につながっていることを、エピソードやデータなどから示す。男女ともに生きやすい社会のために、労働環境の整備と多様性を認める意識改革の必要性を訴える。



ぼくのママは うんてんし

おおともやすお【作/絵】

(福音館書店)

ママは運転士、パパは看護師。保育園に通うくのおむは、ママのたんじょうびにママのうんてんするでんしゃにむかって、はたをふっておいわいしようとおもいついたが…
ママの誕生日をめぐる物語をとおして、おたがいに思いやり、支え合う日々のくらしと、子どもたちが直接目にする事の少ないそれぞれの仕事の場を描く。



おすすめシネマ

情報ライブラリー所蔵の映画や、女性監督作品、話題の映画などを紹介します。

マダム・イン・ニューヨーク

2012年 インド

配給：彩プロ © Eros International Ltd. 公式ウェブサイト：<http://madame.ayapro.ne.jp>

2人の子どもと忙しいビジネスマンの夫サティシュのために尽くす、ごく普通のインドの専業主婦、シャシ。彼女の悩みは、家族の中でひとりだけ英語ができないこと。彼女は事あるごとに夫や子どもたちからそのことをからかわれ、深く傷ついていた。

家庭内で自分の価値を見いだせなくなったシャシが、ニューヨークで暮らす姉から姪の結婚式の手伝いを依頼されたことを機に単身ニューヨークへと旅立つ。シャシが「4週間で英語が話せる」という英会話学校を見つけ、そこで仲間

とともに学ぶことを通じ、「英語が話せない」というコンプレックスを克服しながらひとりの人間としての誇りと自信を取り戻し、生き生きとしていく姿が繊細に描かれている。
インドでは「女は家を守るべき」という男尊女卑の考え方がいまだに根強いことを示唆する描写も見られる。封建的な因習に縛られる女性の解放もこの映画のテーマ。
主演はインドで国民的人気を誇る女優のシュリデビ。メガホンは新鋭女性監督ガウリ・シンデーがとった。
(このDVDはパーティのライブラリーで視聴できます)



お申込み・お問い合わせは…

電話・FAX・ホームページ、または直接ご来館にて。
ホームページ <http://www.parti.jp/>

P14 県とちぎ男女共同参画センター
の講座 TEL 028-665-8323
FAX 028-665-8325



P15 (公財)とちぎ男女共同参画財団
の講座 TEL 028-665-7706
FAX 028-665-7722

パーティ 検索

4月2日(土) 9:00～ 受付スタート

TOCHIGIで輝く☆ 「働くウーマン」プロジェクト事業 公開講座2016 (とちぎ男女共同参画センター&宇都宮大学&(公財)とちぎ男女共同参画財団連携事業)

男女共同参画による地域づくり

●開催日・内容・講師
8/26(金)

超少子化高齢社会を迎え、労働力の減少等が地域経済や私たちの暮らしに様々な影響を及ぼし、深刻な社会問題となる中、女性の活躍促進と男性の働き方の見直しは地域でも取り組まなければならない重要な課題です。

鳥取県知事時代、女性のキャリアアップ、男性の育児休業取得に取り組む、多くの県民に支持された片山さんに、ご自身の実体験も踏まえ、男女共同参画の観点から地域づくりについてお話いただけます。

慶応義塾大学法学部教授 片山 善博

●時 間：13:30～15:30 ※受付開始13:00～

●対 象：どなたでも ●定 員：150名(申込先着順)

●受講料：無料 ●申込締切：8/25(木)

●会 場：宇都宮大学 5B21教室

男女共同参画地域活動推進講座(全4回)



求む!あなたのチカラ☆身近なことから始めてみませんか?

●開催日時・内容

① 7/9(土) 県の男女共同参画推進施策・協働

② 9/3(土) 「地域課題」を見える化し解決策を導く

③ 10/1(土) パルティ防災プログラム

④ 10/22(土) 参加型トークセッション、報告会、交流会

※①と④PMIは「とちぎウーマン応援塾」との合同開催

●時 間：10:00～15:00

●対 象：男女共同参画地域推進員、地域で男女共同参画を推進することに意欲のある方

●定 員：30名(選考あり)

●受講料：無料

●募集期間：4/19(火)～5/20(金)

●申込方法：男女共同参画推進員の方は、お住まいの市町男女共同参画担当窓口へお申込みください。それ以外の方は、県とちぎ男女共同参画センターへお申込みください。詳しくは、当センターまでお問い合わせください。

不妊専門相談センター「おしゃべりサロン」

同じ悩みを持つ人に“会いたい”“聞きたい”“話したい”という方たちの集まりです。

●開催日・テーマ

① 4/16(土) 不妊に悩む女性

② 5/21(土) 流産に悩む女性

③ 6/16(木) 二人目以降の不妊に悩む女性

④ 7/16(土) 治療をやめた女性とやめようか悩んでいる女性

⑤ 9/17(土) 不妊に悩む女性

進行：不妊専門相談センター相談員

①②④⑤は13:30～15:30

③は10:00～12:00

●対 象：不妊・流産に関連した悩みを持つ女性

●定 員：10名程度

●受講料：無料

●申込締切：各開催日前日

※お申込みは栃木県不妊専門相談センターまでお願いします。(P12)

平成28年度 講座のご案内

一時保育あり

満6か月～未就学児

1歳～未就学児

対象講座と月齢(年齢)はこのマーク!



男女共同参画セミナー 県民講座



知って、気づいて、考えて。今がその時。自分にできるコト、探してみよう。

●開催日時・内容・講師

①② 5/28(土) 13:00～16:15

第1部：<世界の男女共同参画>

フィンランドから学ぶ豊かさや平等

～自分らしいライフスタイル～

講師：東京農工大学特任准教授、文化人タレント 坂根 シルック

第2部：<LGBT>

LGBTについて知ろう

～誰もがありのままの自分で生きることができる社会へ～

講師：元タカラジェンヌ、LGBTアクティビスト 東 小雪

③ 6/11(土) 13:30～15:30 <貧困>

すべての女性が「衣食住」に困らず、孤立しない社会へ

～可能性を信じて～

講師：一般社団法人Colabo代表 仁藤 夢乃

●対 象：どなたでも

●定 員：①②200名 ③100名

●受講料：無料

●申込締切：①② 5/27(金) ③ 6/10(金) (各回先着順)

●保育締切：①② 5/13(金) ③ 5/27(金)

※1講座だけの受講もできます。

とちぎウーマン応援塾(全6回)



女性(わたし)の力を活かす!

●開催日・内容

「県の施策」「スキル習得研修」「県外研修」「報告会」「交流会」等

① 7/9(土) ② 7/16(土) ③ 8/27(土) ④ 9/10(土)

⑤ 9/25(日) ⑥ 10/22(土)

※①と⑥PMIは「男女共同参画地域活動推進講座」との合同開催

●時 間：10:00～15:00

●対 象：審議会や自治会等の社会的な場に参画する意欲のある

女性、自ら一歩を踏み出したいと考えている女性

●定 員：30名(選考あり)

●受講料：無料

●募集期間：4/19(火)～5/20(金)

●申 込 先：お住まいの市町男女共同参画担当窓口・対象所属団体

※詳しくは、当センターまたは居住する市町の担当窓口までお問い合わせください。

ポジティブ・ディシプリン講座

～がんばりすぎない前向きな子育て～ (全2回)

イライラしたり、どなってしまったり…ひとりで子育てが
ばりすぎているいませんか？子育てストレスを軽くし、楽な気持ちで子育て
に向かう方法を一緒に考えましょう。

●開催日・講師・内容
①7/7(木) ②7/14(木)
ママリングス代表 看護師 落合 香代子
同じ目線で向き合って、子どもの自信と親子の信頼関係を築く、自分
らしい子育てについて考えます。

●時 間：10:00～12:00
●対 象：未就学児の母親・父親・祖父母、子育て支援者
●定 員：30名 ●受講料：2,000円
●申込締切：6/7(火)

心と体の力に気付く 女性と子どものための護身術

～WEN-DO～

女性、子どもの力でいざという時に自分を護る一危険な場面を回避
する方法や、現場からとにかく逃げて助けを求める方法を学びます。

●開催日・テーマ・講師
7/30(土)
①講義 護“心”術(暴力に気付く、避ける/自分を大切にするには)
②実技 護身術(行動を起こす/体の中の急所、防御の方法、手首を
つかまれた時のはずし方など)

リアライズYOKOHAMA 代表 橋本 明子

●時 間：13:00～15:00
●対 象：小学校4年生以上の女性(小学生は女性の保護者と一緒にご参加ください)
●定 員：20名 ●受講料：1,000円(小・中・高校生は500円)
●申込締切：6/30(木)

女性のためのファイナンシャル・プランニング 技能検定3級試験準備講座(全14回)

FP3級取得を目指す実践的講座です。保険や税、年金の仕組
み、資産運用について知りたい方も。

●開催日・講師・内容 講師：栃木県ファイナンシャル・プランナーズ協同組合

①5/27(金)	②6/3(金)	ライフプランニングと資金計画
③6/10(金)	④6/17(金)	リスク管理
⑤6/24(金)	⑥7/1(金)	金融資産運用
⑦7/8(金)	⑧7/15(金)	タックスプランニング
⑨7/22(金)	⑩7/29(金)	不動産
⑪8/5(金)	⑫8/26(金)	相続・事業承継
⑬8/31(水)	⑭9/2(金)	試験の傾向と対策

●時 間：10:00～12:00 ●対 象：女性
●定 員：30名
●受 講 料：12,000円(別途テキスト代7,000円程度)
●申込締切：5/11(水)

マドレボニータの「産後の心と体のセルフケア」

6月コース(全2回) 9月コース(全2回)

子育てには、母の心と身体の健康が必要です！

●開催日・講師
【6月コース】①6/16(木) ②6/23(木)
【9月コース】①9/8(木) ②9/15(木)
NPO法人マドレボニータ認定 産後セルフケアインストラクター 佐藤 直子
バランスボールを使った有酸素運動、コミュニケーションスキル、日
常でできる具体的なセルフケアを学びます。

●時 間：10:00～12:00
●対 象：産後2カ月以降(産後は何年まででもOK)の女性
生後6カ月未満の赤ちゃんは同伴で参加可能
●定 員：14名 ※定員を超えた場合は抽選 ●受 講 料：2,000円
●申込締切：6月コース 5/13(金) 9月コース 8/5(金)

女性のための こころのケア講座(全12回)

DVやパワハラ、セクハラなどの経験によるこころの傷つき
について考え学んでいく講座です。

●開催日・内容・講師 ※⑦～⑫は後期実施

①5/26(木)	DV・トラウマを理解する
②6/9(木)	「世間の粹」と私らしさ
③6/30(木)	身体的暴力・性暴力
④7/28(木)	精神的暴力・モラルハラスメント
⑤8/25(木)	トラウマに対応するツール
⑥9/29(木)	傷つきによる喪失とグリーフ

認定NPO法人ウイメンズハウスとちぎ カウンセラー 藤平 裕子

●時 間：10:00～12:00
●対 象：女性(暴力経験の有無を問いません。当事者の家族や支援
者の女性もどうぞ)
●定 員：15名 ●受 講 料：各回500円
●申込締切：各回先着順 ●保育申込締切：各回3週間前まで
※途中回からの参加、1回のみ参加も可能です。

家族ケア講座

～私からはじめる こころの手あて(全2日)～

家族関係がぎくしゃくするとき、相手は変えられなくて
も、自分からできることがいろいろあります。

●開催日・テーマ・内容(座学とワークショップ)・講師

①9/9(金) 家族の中のMaking Peace
キレない、タメない、コもらない 家族ケア講座
～女性と子ども問題の視点から

- 私の専門家になろう
- こころと家族の手あて
- 家族で身に付ける役割
- 問題の対処と選択
- 心地よいコミュニケーション
- これからの家族関係

②9/10(土) 私のの中のMaking Peace
オレない、ヘタらない、ツブレない こころの手あて講座

- こころを手あてしよう
- 私とあなたの境界線
- 心の冷え性対策
- わたしの味方(アライ)を探そう!
- 内なる子どもを育てる
- 世界に一つのケアマネージメント

NPO法人TEENSPOST代表 思春期・家族カウンセラー 八巻 香織

●時 間：10:00～16:00
●対 象：20歳以上、どんなでも(ご家族や親しい方同士での参加は
ご遠慮ください)
●定 員：20名
●受 講 料：2,000円(別途教材費 1,300円+消費税)
●申込締切：8/9(火)

イクメン応援講座(全2回)

仕事も子育ても充実させたいパパを応援! パートナーと一緒に
に、産後ケアや働き方について考えます。

●開催日・テーマ・講師

①7/2(土) 夫婦で学ぶ産後ケア～産後クライシスを乗りきろう!
産後エクササイズ体験、産後クライシスとは など
NPO法人マドレボニータ認定 産後セルフケアインストラクター 吉田 紫磨子

②7/16(土) パパの働き方革命～ワークライフマネジメント実践講座
「育キャリ」という新しい働き方、タイムマネジメント、
家事・育児シェアの秘訣 など
東し経営研究所 タイバーシティ&ワークライフバランス推進部 シニアコンサルタント 塚越 学

●時 間：①13:00～15:30 ②13:00～16:00
●対 象：未就学児のいるカップル、出産を予定・希望しているカップル
●定 員：30名(15組)
●受 講 料：無料
●申込締切：6/2(木)

パソコン講座 再就職に向けたスキルアップを応援します!

※各講座とも定員20名 ※教材費別途 ※研修環境 Windows7、Office2010

	エクセル・ワード基礎編 (午前コース 全6回)	エクセル・ワード基礎編 (午後コース 全6回)	エクセル初級編 (全5回)
開催日	6/15(水)～17(金)、22(水)～24(金)	6/15(水)～17(金)、22(水)～24(金)	9/13(火)、16(金)、20(火)、23(金)、27(火)
内 容	エクセルでは簡単な表作成や SUM関数など、ワードでは文書作成	エクセルでは簡単な表作成や SUM関数など、ワードでは文書作成	基本操作の復習、COUNTA、RANK関数など データベース機能の学習
時 間	10:00～12:00	13:30～15:30	10:00～12:00
対 象	マウス操作と文字入力可能な方	マウス操作と文字入力可能な方	基礎編修了者、または関数を用いた四則演算、表作成ができる方
受 講 料	7,000円	7,000円	6,000円
申 込 締 切	5/17(火)	5/17(火)	8/17(水)

※上記は講座内容の抜粋です。詳しい講座内容については、パーティ・公共機関で配布している「講座案内(A3サイズ)」や各講座チラシでご確認ください。
(ホームページでもご覧いただけます)

栃木県より

平成28年度から新たな取り組みがスタート！！

①とちぎ女性活躍応援団（仮称）を設立します！

<平成28年9月予定>

県では、女性の活躍を支える働き方改革にオール栃木体制で取り組んでいくため、趣旨に賛同する企業や団体に登録いただく「とちぎ女性活躍応援団(仮称)」を立ち上げることにしました。

併せて、応援団の取り組みビジョンを県民全体で共有し、女性活躍推進への一体感を高めるためのキックオフイベントの開催を予定しています。

「女性も男性も共に輝くとちぎ」に向けて、盛り上げていきましょう！

■お問い合わせ：県人権・青少年男女参画課
TEL：028-623-3074

②チャレンジショップ出店者を募集します！

<平成28年7月予定>

とちぎ男女共同参画センターでは、「自分のアイデアを活かした商品を販売してみたい」など、夢を持って起業を目指す女性を支援するため、7月からチャレンジショップを開設します。

出店者の募集は4月から開始します。専門家からアドバイスをいただく機会もご用意しておりますので、商品等の販売やカフェ・レストラン経営などの起業を考えている女性の皆様のご応募をお待ちしております。

■お問い合わせ：とちぎ男女共同参画センター
TEL：028-665-8323

男女共同参画社会を考える “とちぎ県民のつどい”

- 開催日時：平成28年6月25日(土)
10:00～12:00 活動団体の事例発表
13:00～13:25 式典
13:30～15:00 水無田気流さん講演会
- 会場：パルティ とちぎ男女共同参画センター
- お申込み：栃木県女性団体連絡協議会
☎028-665-7710 (火・木10:00～16:00)
栃木県人権・青少年男女参画課
☎028-623-3074 (土日祝除く、8:30～17:15)

水無田 気流 さん
詩人・社会学者
立教大学社会学部兼任講師



ウイメンズハウスとちぎ20周年事業

2月20日(土)に「ウイメンズハウスとちぎ設立20周年記念のつどい」がパルティで開かれました。認定NPO法人ウイメンズハウスとちぎは、平成8年の設立以来、DV被害にあわれた方の支援に力を注いできました。つどいには、県内各地のウイメンズのサポーターをはじめ、県や市・町の関係者などおよそ230人が参加し、記念式典、オリジナルDVD「私の生(いのち)はわたしのもの」の上映、代表の中村明美さんの講演「私たちがここにいる理由(わけ)」などが行われました。中村さんは、「女性と子どもの人権を守り、地域で安心して暮らせるよう、これからも支え続けたい」と熱く語りました。



パルティ とちぎ男女共同参画センター

開館時間／9：00～21：00（日曜日は17：00まで）

休館日／毎週月曜日

国民の祝日

12月29日～1月3日

施設のご利用／会議・イベント等にご利用ください（有料）

利用お申込み／窓口受付時間9：00～17：00

ホームページで各研修室等の予約状況をご覧ください。（閲覧のみ）

情報誌のご意見・ご感想をお寄せください。

編集・発行／公益財団法人とちぎ男女共同参画財団

〒320-0071 宇都宮市野沢町4番地1

TEL.028-665-7700(代) FAX.028-665-7722

※おかけ間違いのないよう、お願いします

URL／<http://www.parti.jp/>

表紙作者／よしこSUŪN

印刷／株式会社井上総合印刷

